



文部科学省「情報ひろば」企画展示室において 農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの企画展示を開催

文部科学省では、文部科学行政の取り組みを広く国民にお知らせすることを目的として、省内の広報スペースを活用し、大学・研究機関等における成果や特色ある取組を展示物として紹介する広報を実施しています。

このたび、令和5年9月12日(火)～10月30日(月)まで、文部科学省 新庁舎2階エントランスにおいて、本学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの取り組みの企画展示を実施しますのでお知らせします。

概要等は下記のとおりです。

記

- 1 開催期間 令和5年9月12日(火)～10月30日(月) (予定)
10時～18時 (入館時間は17時30分まで)
※土曜日、日曜日、祝日は休館
- 2 開催場所 文部科学省 新庁舎2階 エントランス ※入場無料
(東京都千代田区霞が関3-2-2)
※文部科学省「情報ひろば」ホームページ
<https://www.mext.go.jp/joho-hiroba/index.htm>
- 3 テーマ 菌類きのこの可能性
- 4 内容 鳥取大学の特徴ある研究の一つに菌類きのこ研究があります。きのこはカビの仲間と菌類に分類されますが、その中でも「子実体」と呼ばれる大きな器官を作る菌類です。国内には数千種ものきのこが存在していますが、一般にはシイタケ・マイタケ、えのきなどわずかなきのこが知られているだけで多くは未知です。また、食用のほか、漢方薬としての利用が知られていますが、資源としての価値はほとんど調査されていません。
鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センターでは、国内の菌類きのこの遺伝資源の収集・分類・保存する技術開発と収集した遺伝資源を研究機関へ提供するための研究基盤整備を行っています。また食用品種の新しい栽培技術の開発、機能性成分を使った医薬品開発、栽培後の廃棄物のリサイクル化研究を通じて、きのこを核とした循環型資源利用システム開発ができる次世代を担う人材育



成に取り組んでいます。

企画展示では、ナショナルバイオリソースプロジェクト中核拠点整備事業の支援を受けて取り組んでいる遺伝資源の収集・保存・分譲、きのこ育成者権の保護に関する取り組みのほか、遺伝資源を利用する活用研究の成果の一部を紹介します。

- 5 展 示 物 ●実物展示：菌糸体標本、乾燥きのこのアクリル標本、
きのこ栽培に使用する材料、きのこ図鑑
●パネル展示：菌類きのこ遺伝資源研究センターの紹介と
研究の取り組み紹介

以上